

安全データシート

New Look Tire Paint Plus

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2023/12/07 バージョン: 1.0

MSDS 番号: 13569-0001



1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : New Look Tire Paint Plus

製品コード : 8200200, 820020

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : タイヤの色

会社情報

仕入先

B&J Rocket Rasp

6880

TarmTvaervej30

T 0045 97 37 14 33 - F 0045 97 37 32 02

SDS 担当の有資格者の電子メールアドレス: sds@gbk-ingelheim.de

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : ????????

2. 危険有害性の要約

ラベル表示適用外

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

コメント : 水性乳剤。

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
2-ブトキシエタノール (ブチルグリコール参照)	< 1	C6H14O2	(2)-407,(2)-2424,(7)-97	既存化学物質	111-76-2
2-Amino-ethanol	< 1	C2H7NO	(2)-301	既存化学物質	141-43-5
すす	< 5	C	(5)-5222;(5)-3328	-	1333-86-4
アンモニア	< 0.3	H5NO	(1)-314	既存化学物質	1336-21-6
石英	< 5	O2Si	(1)-548	既存化学物質	14808-60-7

4. 応急措置

応急措置

応急措置 一般 : 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
気分が悪い場合は医師の診察を受ける。

安全データシート

New Look Tire Paint Plus

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

MSDS 番号: 13569-0001

吸入した場合	: 被災者を汚染エリアから新鮮な空気のある場所に移動させる。
皮膚に付着した場合	: 多量の水と石鹸で優しく洗うこと。
眼に入った場合	: まぶたの内側も含め、多量の水で直ちに洗浄する。 刺激が続く場合は、眼科医の診察を受ける。
飲み込んだ場合	: 無理に吐かせてはいけない。 口をすすぐこと。 水を大量に飲ませる。 意識不明状態の者には決して口から物を与えない。 医師を呼ぶ。 医師の診断なく、無理に吐かせない。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 皮膚に付着した場合	: 長期、あるいは反復した皮膚との接触は炎症のおそれ。
症状/損傷 眼に入った場合	: 眼に入った場合、刺激を感じる可能性が高い。
症状/損傷 飲み込んだ場合	: 誤飲すると、上気道を刺激したり、胃腸機能不全にいたるおそれがあります。

医師に対する特別な注意事項

処置	: 対症的に治療すること。
----	---------------

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 水噴霧、乾燥粉末消火剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、砂
使ってはならない消火剤	: 多量のウォータージェット
火災危険性	: 製品は不燃性です。
爆発の危険	: 物質は爆発性ではない。
火災時の危険有害性分解生成物	: 刺激性/腐食性、可燃性かつ有毒な乾留ガス。
消火方法	: 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。
消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。
火災の予防策	: 水スプレージェットで危険にさらされた容器を冷却。
その他の情報	: 火災残留物や汚染された消火水は当該地の規定に従って廃棄する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

一般的措置	: 十分な換気を確保する。 個人用保護具を着用する。 不要な職員を退避させる。
-------	---

非緊急対応者

応急処置	: 漏出エリアを換気する。
------	---------------

緊急対応者

保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第8項の「ばく露防止及び保護措置」を参照。
-----	---

安全データシート

New Look Tire Paint Plus

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

MSDS 番号: 13569-0001

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項 : 排水溝/地上水/地下水に混入させないこと。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法 : 漏出した製品の流出を防ぎ封じ込める。

浄化方法 : 液体結合材で吸収(例: 砂、珪藻土、酸性または万能結合剤)。
廃棄するため、塵取りで清掃するか取り除き、密封された容器に入れる。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : データなし

安全取扱注意事項 : 皮膚、眼との接触を避ける。
容器を密閉しておくこと。

接触回避 : データなし

衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
乾燥した場所に保管すること。
涼しいところに置くこと。
凍結を避けて保管する。

安全な容器包装材料 : データなし

混触禁止物質 : 酸化性物質。

混合保管に関する情報 : 動物用のものも含めて、食べ物や飲み物から離れた所に保存する。

8. ばく露防止及び保護措置

監視方法 : 特定のばく露サンプリング法はありません

生物学的モニタリング法 : 特定のばく露サンプリング法はありません

2-ブトキシエタノール (ブチルグリコール参照) (111-76-2)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	エチレングリコールモノブチルエーテル # Ethylene glycol monobutyl ether
許容濃度 上限	97 mg/m ³
	20 ppm
特記事項 (JP)	経皮吸収; 生殖毒性分類 2
規則参照	許容濃度等の勧告 (2023 年度) 産衛誌 65 巻
アンモニア (1336-21-6)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	アンモニア # Ammonia
許容濃度	17 mg/m ³
	25 ppm

安全データシート

New Look Tire Paint Plus

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

MSDS 番号: 13569-0001

アンモニア (1336-21-6)	
規則参照	許容濃度等の勧告 (2023 年度) 産衛誌 65 巻
石英 (14808-60-7)	
日本 - ばく露限界値 (日本産業衛生学会)	
現地名	結晶質シリカ
許容濃度	0.03 mg/m ³ (吸入性粉塵)
特記事項 (JP)	発がん性分類 1
規則参照	許容濃度等の勧告 (2023 年度) 産衛誌 65 巻

設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

呼吸用保護具 : いかなる個人用の呼吸保護具も、通常は必要ない。

手の保護具 : この推奨は実験室条件下における化学的適合性および EN 374 準拠テストにのみ基づく、適用次第では異なる要件が生ずる。そのため、保護手袋納入業者の推奨を更に配慮すること

タイプ	素材	透過	厚さ (mm)	浸透	規格
耐化学薬品手袋	天然ゴム	6 (> 480 分)	≥ 0,6		EN ISO 374

タイプ	適用分野	特徴	規格
サイドシールド付き安全メガネ	液体が飛散する可能性がある ある		EN 166

タイプ	規格
長袖防護服	EN ISO 6530

環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

その他の情報 : 皮膚、眼との接触を避ける、休憩に入る前および作業後は手を洗う、使用中は飲食禁止かつ禁煙

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
外観	: 液体
色	: 黒色
臭い	: アンモニア臭
pH	: 9 - 10 (20 ° C)
融点	: 0 ° C
凝固点	: データなし
沸点	: データなし
引火点	: > 150 ° C
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: データなし
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: 0.99 - 1.04 g/cm ³ (20 ° C)

安全データシート

New Look Tire Paint Plus

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

MSDS 番号: 13569-0001

相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水: 完全に混合可能
Log Pow	: データなし
爆発特性	: 物質は爆発性ではない。
爆発限界 (vol %)	: 非該当
酸化特性	: 酸化しない
動粘性率	: データなし
VOC 含有量	: 0 %
粒子特性	: データなし
追加情報	: 溶剤の成分 0 %

10. 安定性及び反応性

反応性	: 指定通り保管し使用する限り分解しない。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 酸化剤と反応。
避けるべき条件	: 熱分解を回避するため、強く加熱しない。加熱により発火性蒸気が放出するおそれがある。
混触危険物質	: 強力な酸化剤。
危険有害な分解生成物	: 危険有害な分解生成物は知られていない。火災が発生する可能性: 炭素酸化物 (CO、CO2)。

11. 有害性情報

その他の情報	: 反復または長期接触により皮膚の炎症を引き起こすことがある、長期反復の接触により、眼や粘膜刺激の原因となることがある、誤飲すると、上気道を刺激したり、胃腸機能不全にいたるおそれがあります
急性毒性 (経口)	: データなし
急性毒性 (経皮)	: データなし
急性毒性 (吸入)	: データなし

2-ブトキシエタノール (ブチルグリコール参照) (111-76-2)

急性毒性 (経口)	ラットの LD50 値として、470-3,000 mg/kg の範囲内で 10 件の報告がある。ガイダンスの改訂により、最も多くのデータ (4 件) (470 mg/kg、917 mg/kg (環境省リスク評価第 6 巻 (2008))、約 1,500 mg/kg (NTP TR484 (2000))、1,746 mg/kg (SIDS (1997)、NICNAS (1996)) が該当する区分 4 とした。なお、2 件が区分外 (国連分類基準の区分 5)、4 件が区分 4 又は区分 5 に該当する。
-----------	---

安全データシート

New Look Tire Paint Plus

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

MSDS 番号: 13569-0001

2-プトキシエタノール (プチルグリコール参照) (111-76-2)	
急性毒性 (経皮)	ラットの LD50 値として、> 2,000 mg/kg の範囲で 3 件の報告がある。ウサギの LD50 値として、72 mg/kg から> 2,000 mg/kg の範囲内で 16 件の報告があり、合計 19 件の報告がある。ガイダンスの改訂により、最も多くのデータ (9 件) (220 mg/kg (ATSDR (1998))、220 mg/kg (環境省リスク評価第 6 巻 (2008))、約 400 mg/kg (ACGIH (7th, 2003))、435 mg/kg (SIDS (2007)、NICNAS (1996))、404-502 mg/kg (CICAD 67 (2010))、405-504 mg/kg (DFGOT vol. 6 (1994)、ECETOC TR95 (2005))、567 mg/kg (雄)、636 mg/kg (雌) (NICNAS (1996))、612 mg/kg (DFGOT vol. 6 (1994))、841 mg/kg (1,060 mg/kg (雄)、667 mg/kg (雌)) (EU-RAR (2006)、ECETOC TR95 (2005)) が該当する区分 3 とした。なお、2 件が区分 2 に、2 件が区分 2 又は区分 3 に、1 件が区分 3 又は区分 4 に、2 件が区分外に該当する。新たな情報源 (ACGIH (7th, 2003)、ATSDR (1998)、CICAD 67 (2010)、DFGOT vol. 6 (1994)、ECETOC TR95 (2005)、EU-RAR (2006)、NICNAS (1996)、NTP TR484 (2000)、SIDS (2006)、SIDS (2007)、環境省リスク評価第 6 巻 (2008)) を追加し、分類を見直した。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	ラットの LC50 値 (4 時間) として、450 ppm (SIDS (2007)、環境省リスク評価第 6 巻 (2008))、486 ppm (雄)、450 ppm (雌) (ACGIH (7th, 2003)、ATSDR (1998)、CICAD 67 (2010)、ECETO TR95 (2005)、NICNAS (1996)、NTP TR484 (2000)、SIDS (2006))、500 ppm (ATSDR (1998)) との報告に基づき、区分 2 とした。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
LD50 経口	470 mg/kg
LD50 経皮	220 mg/kg
LC50 吸入 - ラット (蒸気)	2.03 mg/l/4h
2-Amino-ethanol (141-43-5)	
急性毒性 (経口)	ラットの LD50 値として、1,720 mg/kg (PATTY (6th, 2012)、環境省リスク評価第 9 巻 (2011)、厚生労働省委託がん原性試験結果 (Access on May 2014))、3,320 mg/kg (PATTY (6th, 2012))、ACGIH (7th, 2001))、10,200 mg/kg、20,000 mg/kg、1,515-3,320 mg/kg (DFGOT vol. 12 (1999))、500-20,000 mg/kg (NITE 初期リスク評価書 (2008)) との 6 件の報告がある。分類ガイダンスに基づき、最も多くのデータが該当する区分外とした。(1 件が区分 4、3 件が区分外 (うち 1 件が国連分類基準の区分 5) に該当する。また、2 件は複数データの集約であるため該当数に含めなかった。) 新たな情報 (PATTY (6th, 2012)、環境省リスク評価第 9 巻 (2011)、厚生労働省委託がん原性試験結果 (Access on May 2014)、PATTY (6th, 2012)、DFGOT vol. 12 (1999)、NITE 初期リスク評価書 (2008)) を追加し、ガイダンスの改訂により、最も多くのデータが該当する区分外とした。

安全データシート

New Look Tire Paint Plus

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

MSDS 番号: 13569-0001

2-Amino-ethanol (141-43-5)	
急性毒性 (経皮)	ウサギの LD50 値として、1,000 mg/kg (ACGIH (7th, 2001))、1,018 mg/kg (PATTY (6th, 2012)、環境省リスク評価第 9 巻 (2011))、1,025 mg/kg (DFGOT vol. 12 (1999)) との 3 件の報告がある。分類ガイダンスに基づき、最も多くのデータが該当する区分 4 とした。(1 件が区分 3、2 件が区分 4 に該当する。) 新たな情報 (PATTY (6th, 2012)、環境省リスク評価第 9 巻 (2011)、DFGOT vol. 12 (1999)) を追加し、ガイダンスの改訂に基づき、最も多くのデータが該当する区分 4 とした。
急性毒性 (吸入:気体)	GHS の定義における液体である。
急性毒性 (吸入:蒸気)	データ不足のため分類できない。なお、飽和蒸気をラットに 8 時間ばく露 (4 時間換算値 : 739 ppm) した結果、中毒症状がみられなかったとの報告 (DFGOT vol. 12 (1999)) がある。
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	データ不足のため分類できない。
LD50 経口 ラット	1515 mg/kg
すず (1333-86-4)	
LD50 経口	8000 mg/kg

皮膚腐食性/刺激性 : データなし

New Look Tire Paint Plus	
pH	9 - 10 (20 ° C)
2-ブトキシエタノール (ブチルグリコール参照) (111-76-2)	
皮膚腐食性/刺激性	ウサギを用いた皮膚刺激性試験の報告が複数あり、OECD TG 404 相当の 2 試験では「刺激性あり」(SIDS (2006)、ECETOC TR95 (2005)、NICNAS (1996))、所見として重度の持続的な紅斑及び重度の浮腫がみられたが 7 日後には回復したと報告されている (SIDS (2006))。他の 4 時間適用をおこなった皮膚刺激性試験では「軽度の刺激性あり」、あるいは「刺激性あり」と報告されている (SIDS (2006)、ECETOC TR95 (2005)、EU-RAR (2006))。また、ウサギに 24 時間、半閉塞条件下で適用した結果、適用直後に軽度から中等度の紅斑 (5/6 匹)、軽度の浮腫 (4/6 匹) がみられ、適用 48 時間後には軽度から中等度の紅斑 (4/6 匹)、軽度の浮腫 (3/6 匹) がみられた (EU-RAR (2006))。本試験における一次刺激スコアは 1.5 であった。また、モルモットを用いた皮膚刺激性試験においても「刺激性あり」との結果がある (SIDS (2006)、EU-RAR (2006))。以上の結果から区分 2 とした。なお、本物質は EU DSD 分類で「R38」、EU CLP 分類で「H315 Skin Irrit. 2」に分類されている。

安全データシート

New Look Tire Paint Plus

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

MSDS 番号: 13569-0001

2-Amino-ethanol (141-43-5)	
皮膚腐食性／刺激性	ウサギの皮膚に原液を 1 分間又は 5 分間適用後洗浄した試験において、適用 1 日後に皮膚に出血と適用時間に依存した発赤、壊死がみられ、8 日後は、鱗屑の形成がみられた (NITE 初期リスク評価書 (2008))。また、別のウサギの皮膚に原液を適用した 2 試験及びウサギの耳介に適用した 1 試験においていずれも適用部位に壊死が認められた (NITE 初期リスク評価書 (2008))。また、ヒトのボランティアに 1.5 時間半閉塞経皮適用した試験で、発赤、浮腫が認められたとの報告がある (NITE 初期リスク評価書 (2008))。以上の結果から区分 1A とした。なお、本物質は EU DSD 分類において「C; R34」、EU CLP 分類において「H314 Skin corr. 1B」に分類されている。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 : データなし

New Look Tire Paint Plus	
pH	9 - 10 (20 ° C)
2-プトキシエタノール (ブチルグリコール参照) (111-76-2)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギを用いた眼刺激性試験 (OECD TG 405、GLP 準拠) において、投与後 24-27 時間後の角膜混濁のスコア 0.9、虹彩炎のスコア 0.6、結膜炎のスコア 2.6、結膜浮腫のスコア 1.8 であり、21 日後までに回復したとの報告がある (ECETOC TR95 (2005)、EU-RAR (2006))。また、他にもウサギ用いた眼刺激性試験の報告が複数あり、ドレイズ試験法で強度の刺激性を示した (SIDS (2006)、EU-RAR (2006)) との報告がある。また、ヒトでは痛みを伴う刺激とともに時に角膜混濁も起こすが、その症状は一般に数日以内に回復すると記述されている (DFGOT vol. 6 (1994))。以上の結果から区分 2A とした。

2-Amino-ethanol (141-43-5)	
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	ウサギを用いた眼刺激性試験において、原液投与により瞬膜から結膜、眼瞼の縁にかけての重度の化学火傷や、角膜混濁、重度の浮腫が認められ、8 日後に回復しなかった (NITE 初期リスク評価書 (2008))。また、別のウサギを用いた 2 件の眼刺激性試験においても重度の刺激性が認められている (NITE 初期リスク評価書 (2008))。以上の結果から、区分 1 とした。なお、ヒトの眼に 30 % の水溶液を一滴点眼した試験で、一時的な刺激性と充血が認められたとの報告がある (NITE 初期リスク評価書 (2008))。

呼吸器感作性 : データなし

2-プトキシエタノール (ブチルグリコール参照) (111-76-2)	
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。

2-Amino-ethanol (141-43-5)	
呼吸器感作性	金属用腐食防止剤として使われている 本物質 1mg/m ³ 以上に吸入ばく露された作業者に、上部呼吸器の炎症、慢性の気管支炎がみられた (NITE 初期リスク評価書 (2008)) との報告がある。また、本物質を含むヘアケア製品によって喘息発作を起こした 14 人に対しエアロゾル吸入誘発試験を実施した結果、全員に陽性反応がみられたとの記載がある (BUA 202 (1996))。しかし、BUA 202 (1996) では職業ばく露においてみられる症状がモノエタノールアミン単独に由来するとは明らかにはされていないと結論している。以上から、上記のヒトデータは本物質単一のばく露と発生症状の間の関連性を決定するための条件と結果が不足しているヒト事例であり、分類に用いるには不十分なデータと判断した。

安全データシート

New Look Tire Paint Plus

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

MSDS 番号: 13569-0001

皮膚感作性 : データなし

2-プトキシエタノール (ブチルグリコール参照) (111-76-2)	
皮膚感作性	モルモットを用いたマキシマイゼーション試験 (OECD TG 406、GLP) において、陰性との報告があり (SIDS (2006)、ECETOC TR95 (2005)、NICNAS (1996))、別のマキシマイゼーション試験においても、陰性を示したとの報告がある (SIDS (2006)、ATSDR (1998)、NICNAS (1996))。また、ボランティア 200 名に対して本物質 10%水溶液のパッチテスト (GLP 準拠) を実施した結果、陰性を示したとの報告がある (SIDS (2006))。またボランティア 214 名に対するパッチテストにおいても、陰性を示したとの報告がある (ATSDR (1998)、ECETOC TR95 (2005))。以上の結果より区分外とした。

2-Amino-ethanol (141-43-5)	
皮膚感作性	モルモットを用いた皮膚感作性試験において、中程度の感作性 (4/5 匹) がみられたとの報告がある (NITE 初期リスク評価書 (2008))。また、疫学情報では本物質を含む水溶性オイルを使用している施盤作業業者に対するパッチテストで強い陽性結果がみられた (NITE 初期リスク評価書 (2008))。また、金属用腐食防止剤として使われている本物質の蒸気に 1-3 年間ばく露された 104 人の作業員 (男性 64 人、女性 40 人) に、アレルギー性皮膚疾患、湿疹が認められたとの報告がある (NITE 初期リスク評価書 (2008))。以上の結果から区分 1 とした。

生殖細胞変異原性 : データなし

2-プトキシエタノール (ブチルグリコール参照) (111-76-2)	
生殖細胞変異原性	ガイダンスの改訂により「区分外」が選択できなくなったため、「分類できない」とした。すなわち、in vivo では、ラット、マウスの骨髄細胞を用いた小核試験で陰性 (環境省リスク評価第 6 巻 (2008)、SIDS (2007)、EU-RAR (2006)、NICNAS (1996)) である。In vitro では、細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞の遺伝子突然変異試験、姉妹染色分体交換試験で陰性、陽性の結果が存在し、染色体異常試験、小核試験では陰性の結果となっている (EU-RAR (2006)、NICNAS (1996)、SIDS (2007)、環境省リスク評価第 6 巻 (2008))。

2-Amino-ethanol (141-43-5)	
生殖細胞変異原性	ガイダンスの改訂により「区分外」が選択できなくなったため、「分類できない」とした。すなわち、in vivo では、マウスの小核試験で陰性 (初期リスク評価書 (2008)、環境省リスク評価第 9 巻 (2011)、DFGOT vo.12 (1999))、in vitro では、細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞の染色体異常試験、姉妹染色分体交換試験で陰性 (初期リスク評価書 (2008)、環境省リスク評価第 9 巻 (2011)、DFGOT vo.12 (1999)、PATTY (6th, 2012)、NTP DB (Access on July 2014)) である。In vitro 遺伝子突然変異試験のデータはない。

発がん性 : データなし

2-プトキシエタノール (ブチルグリコール参照) (111-76-2)	
発がん性	IARC ではグループ 3 (IARC 88 (2006))、ACGIH では A3 (ACGIH (7th, 2003))、EPA ではグループ C (IRIS (1999)) と分類され発がん性の評価が異なった。しかし、EPA はその後の評価で、本物質はヒトに対して発がん性物質ではなさそうであるとの見解を示し (IRIS TR (2010))、SIDS (2007) においても、同様に発がん物質であるとの根拠はないとしている。以上より、ガイダンスの改訂により「分類できない」とした。

安全データシート

New Look Tire Paint Plus

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

MSDS 番号: 13569-0001

2-ブトキシエタノール (ブチルグリコール参照) (111-76-2)	
IARC グループ	分類できない
2-Amino-ethanol (141-43-5)	
発がん性	国際機関等による発がん性分類はない。なお、F344 ラット雌雄の2年間飲水投与発がん性試験 (0、800、2,400 or 7,200 ppm (w/w)) 及び B6D2F1 マウス雌雄の2年間飲水投与発がん性試験 (0、800、2,000 or 5,000 ppm (w/w)) でいずれも発がん性は認められなかった (厚生労働省委託がん原性試験結果 (Access on May 2014))。その他のデータはない。したがって、データ不足のため分類できない。
すず (1333-86-4)	
IARC グループ	ヒトに対して発がん性が疑われる
石英 (14808-60-7)	
IARC グループ	ヒトに対して発がん性がある
National Toxicology Program (NTP) Status	既知のヒトへの発がん性物質
生殖毒性	: データなし
2-ブトキシエタノール (ブチルグリコール参照) (111-76-2)	
生殖毒性	ラットを用いた吸入経路での催奇形性試験、ウサギを用いた吸入経路での催奇形性試験 (OECD TG 414)、ラットを用いた経口経路 (強制) での催奇形性試験 (OECD TG 414) において、母動物毒性 (体重増加抑制、臓器重量の変化、血液パラメータの変化) がみられる用量 (吸入では 200 ppm (970 mg/m ³), 経口では 200 mg/kg bw/day) で発生影響 (着床数の減少、吸収胚の増加など) がみられた (SIDS (2006))。したがって、区分 2 とした。
2-Amino-ethanol (141-43-5)	
生殖毒性	ラットを用いた経口経路での催奇形性試験において母動物毒性 (体重増加抑制) がみられる用量 (450 mg/kg bw/day) においても、胎児、新生児に異常はみられていない。妊娠マウスに妊娠 6-15 日に強制経口投与し分娩させた試験では、母動物毒性 (16%が死亡し、活動低下、円背姿勢、努力性呼吸又は頻呼吸、喘鳴、稀に振戦、立毛、膣からの血性分泌物などがみられ、出産 3 日後の体重の有意な減少) がみられる用量 (850 mg/kg bw/day) において、出産率の有意な低下がみられたが同腹児数、児の生存率、出生時体重及び体重増加に影響はみられていない (環境省リスク評価第 9 巻 (2011))。なお、このほかに Mankes (1986) によるラットを用いた経口経路での催奇形性試験において母動物毒性がみられない用量において胚/胎児毒性 (吸収胚又は胎児死亡、低体重)、変異や奇形 (胸骨の変異、腎症/水尿管症) の増加がみられたとの報告があるが、GLP のもとで実施した他の試験結果との間に大きな差があり、その原因として、安全性評価を意図した実験計画でないこと、1 群の動物数が 10 匹と少ないこと、奇形分類が一般的でないこと、通常の発達段階の腎臓所見も異常としていることなどが指摘されている (環境省リスク評価第 9 巻 (2011))。したがって、この報告は GHS 分類に用いなかった。以上のように、催奇形性は認められていないが、生殖能に関する情報が得られていないため分類できないとした。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データなし

安全データシート

New Look Tire Paint Plus

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

MSDS 番号: 13569-0001

2-プトキシエタノール (ブチルグリコール参照) (111-76-2)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ヒトにおいては、吸入経路及び経口経路で気道の刺激性、嘔吐、眩暈、嗜眠、昏睡、呼吸困難、散瞳、代謝性アシドーシス、ヘモグロビン低下、血尿、経口摂取で、低カリウム血症、血清クレアチニン濃度の上昇、シュウ酸エステル結晶の尿中排泄量の著しい増加、低酸素血症、肺水腫、成人呼吸窮迫症候群 (ARDS)、血小板減少を伴う非溶血性低色素性貧血が報告されている (EU-RAR (2006)、SIDS (2007)、環境省リスク評価第 6 巻 (2008)、ACGIH (7th, 2003))。ラットの 450 ppm の吸入ばく露で、浅速呼吸、協調運動の喪失、泌尿生殖器周囲の赤色化、腎臓の肥大及び脱色、膀胱の赤色液 (SIDS (2007))、486 ppm で重度のヘモグロビン尿、呼吸困難、肺、腎臓、肝臓、脾臓の変化 (具体的な記載なし) (ACGIH (7th, 2003))、475 ppm で血尿、協調運動不良、マウスの吸入ばく露では、560 ppm 以上で、呼吸困難、重度のヘモグロビン尿、脾臓の濾胞での貪食像及び静脈鬱血、限局性壊死、リンパ過形成、間質性腎炎、気管支肺炎 (EU-RAR (2006)) が見られた。経口ばく露では、ラットの 1,120-1,420 mg/kg で不活発、衰弱、昏睡、肺の出血、腎臓の重度の鬱血、ヘモグロビン尿、血尿、斑状肝、マウスの 1,519-2,005 mg/kg で活動低下、努力呼吸、呼吸困難、無食欲、振戦、高用量で血尿、死亡動物で胃腸の出血 (EU-RAR (2006)) の報告がある。経皮適用では、ウサギの 72-225 mg/kg で衰弱、低体温、ヘモグロビン尿、昏睡、呼吸不全、腎傷害、肺の変化 (詳細記載なし)、肝臓の鬱血、間葉系の反応を伴う壊死巣、不定脂肪変性、脾臓の鬱血、ヘモグロビン血症性ネフローゼを伴う腎臓肥大、壊死を伴う皮膚病変 (EU-RAR (2006)) の報告がある。なお、これらの所見は、区分 1 に相当するガイダンス値の範囲でみられた。以上より、区分 1 (血液系、呼吸器、肝臓、腎臓)、区分 3 (麻酔作用) とした。
2-Amino-ethanol (141-43-5)	
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	ヒトにおいては、吸入ばく露で、咳、頭痛、息切れ、咽頭痛、嘔吐、脱力感、眩暈、上腕のしびれ、胸の痛み、1 mg/m ³ 以上の吸入ばく露で上部呼吸器の炎症、慢性の気管支炎、急性肝障害から慢性肝炎の報告がある (NITE 初期リスク評価書 (2008)、環境省リスク評価第 9 巻 (2011)、DEFGOT vol.12 (1999))、また、経口摂取では腹痛、灼熱感、ショック・虚脱、中枢神経系に影響を与え、意識低下を引き起こす (環境省リスク評価第 9 巻 (2011))。実験動物では、経口経路で、無気力、運動減少、よろめき歩行、間代性及び強直性痙攣、呼吸困難、腹臥位、運動神経麻痺、過度の緊張、鎮静、筋の震え、遅発性死亡の報告があり、剖検結果では肝実質細胞壊死の報告がある (NITE 初期リスク評価書 (2008)、BUA 202 (1996))。これらの症状はガイダンス値の区分 2 又は 3 に相当する範囲でみられた。さらに、本物質は呼吸器刺激性物質であり、神経毒性物質であるとの記載 (PATTY (6th, 2012)) がある。以上より、実験動物においては症状はガイダンス値の区分 2 又は 3 に相当する範囲でみられているが、ヒトへの影響を重視し、区分 1 (中枢神経系、呼吸器、肝臓)、区分 3 (麻酔作用) とした。
追加情報	特定の濃度限界値

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

: データなし

安全データシート

New Look Tire Paint Plus

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

MSDS 番号: 13569-0001

2-プトキシエタノール (プチルグリコール参照) (111-76-2)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトでの知見は反復ばく露影響に関して利用可能な情報はない (SIDS (2007)、CICAD 67 (2010))。実験動物ではラットに 13 週間飲水投与した試験で、区分 2 相当の用量 (約 70 mg/kg/day) で、血液系への影響 (赤血球数減少など)、精子濃度の減少がみられた (CICAD 67 (2010))。吸入経路ではラット及びマウスにおける 14 週間及び 2 年間吸入ばく露試験において、区分 1 に該当する低濃度 (0.15 mg/L/6 hr) から、貧血所見 (赤血球、ヘモグロビン濃度及びヘマトクリット値の減少、網赤血球比率の増加など) がみられており (SIDS (2007)、CICAD 67 (2010))、影響はマウスよりラットで強く、雄より雌で強く発現する傾向がみられた (CICAD 67 (2010))。ラット、マウスともに 14 週間吸入ばく露試験では、区分外の高濃度で脾臓の髄外造血亢進、脾臓、肝臓、腎臓におけるヘモジデリン沈着、骨髄での造血細胞増生など血液影響に関連した二次的变化が認められている (CICAD 67 (2010))。なお、本物質ばく露ではヒト、実験動物のいずれにも精巣への明らかな影響を生じなかった。以上より、区分 1 (血液系) に分類した。
2-Amino-ethanol (141-43-5)	
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	ヒトでは分類に利用可能なデータはなかった。実験動物については、ラットの 13 週間混餌投与試験 (NITE 初期リスク評価書 (2008)、環境省リスク評価第 9 巻 (2011)、ACGIH (7th, 2001)、DFGOT vol. 12 (1999)、PATTY (6th, 2012))、ラット及びマウスの 13 週間及び 104 週間飲水投与試験 (厚労省委託がん原性試験 (Access on May 2014)) において、いずれも区分 2 をはるかに超える用量で、主に腎臓への影響 (重量増加、血中尿素窒素増加、尿タンパク陽性、腎乳頭変性/壊死) がみられたに過ぎず、経口経路では区分外相当と考えられた。吸入経路ではラット、モルモット、イヌに本物質蒸気を濃度及びばく露期間を可変させ、いずれも 24 時間/日吸入ばく露した試験 (NITE 初期リスク評価書 (2008)、ACGIH (7th, 2001)、DFGOT (vol. 12, 1999)、環境省環境リスク評価第 9 巻 (2011)、PATTY (6th, 2012)、記述内容は原著 (Weeks, M. H. et al. (1960)) で確認した) において、ラット及びイヌでは 12-15 mg/m ³ を 40 日間、又は 60 日間ばく露 (ガイダンス値換算: 0.021-0.04 mg/L/6 hr) で活動性低下が、ラット、モルモット、イヌに 29-64 mg/m ³ を 90 日間ばく露 (ガイダンス値換算: 0.12-0.26 mg/L/6 hr) で嗜眠がみられ、中枢神経系への影響が区分 1 の範囲で認められた。また、高濃度ばく露群ではラットへの 162 mg/m ³ の 30 日間ばく露、並びにモルモットへの 184 mg/m ³ の 24 日間ばく露で、死亡例が多発 (ラットで 83% (37/45 例)、モルモットで 75% (23/30 例)) し、死亡例を含む病理学的検査で消化管、肝臓、腎臓、肺、骨髄、精巣に肉眼ないし組織変化が認められたが、これらは死後変化を含む所見の可能性があり、又は全身的に疲弊した状況でみられる消耗性変化の可能性が考えられ、標的臓器の対象外とした。なお、標的臓器(単回ばく露)の項に記述したように、本物質が呼吸器刺激性物質であることから、反復ばく露の標的臓器としても、区分 1 (中枢神経系)に加えて区分 2 (呼吸器) を追加した。
すず (1333-86-4)	
LOAEC (吸入、ラット、粉じん/ミスト/煙、90 日)	0.0071 mg/l air Animal: rat, Animal sex: male
NOAEL (経口、ラット、90 日)	> 1000 mg/kg bodyweight Animal: rat, Guideline: OECD Guideline 408 (Repeated Dose 90-Day Oral Toxicity Study in Rodents)

安全データシート

New Look Tire Paint Plus

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

MSDS 番号: 13569-0001

すず (1333-86-4)	
NOAEC (吸入、ラット、粉じん/ミスト/煙、90日)	0.0011 mg/l air Animal: rat, Animal sex: male
誤えん有害性	: データなし
2-ブトキシエタノール (ブチルグリコール参照) (111-76-2)	
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。
2-Amino-ethanol (141-43-5)	
誤えん有害性	データ不足のため、分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性) : データなし

水生環境有害性(慢性) : データなし

2-ブトキシエタノール (ブチルグリコール参照) (111-76-2)	
水生環境有害性 短期 (急性)	魚類 (シープスヘッドミノー) での 96 時間 LC50 = 116mg/L (環境省リスク評価第 6 巻, 2008, 他)、甲殻類 (ウシエビ属) での 96 時間 LC50 = 130mg/L (環境省リスク評価第 6 巻, 2008, 他) であることから、区分外とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	急速分解性があり (BOD による分解度 : 96% (既存点検, 1976))、かつ生物蓄積性が低いと推定される (log Kow=0.83 (PHYSPROP Database, 2009)) ことから、区分外とした。
LC50 魚 1	116 mg/l
EC50 ミジンコ 1	130 mg/l
2-Amino-ethanol (141-43-5)	
水生環境有害性 短期 (急性)	藻類 (セレナストラム) の 72 時間 ErC50=2.5mg/L (環境省生態影響試験、1996) から、区分 2 とした。
水生環境有害性 長期 (慢性)	急速分解性があり (BOD による分解度 : 83% (既存化学物質安全性点検データ))、かつ生物蓄積性が低いと推定される (log Kow=-1.31 (PHYSPROP Database, 2005)) ことから、区分外とした。
LC50 魚 1	150 mg/l 96 h, Oncorhynchus mykiss(ニジマス)
EC50 ミジンコ 1	65 mg/l 48 h, オオミジンコ (ミジンコ)
EC50 72h - 藻類 [1]	22 mg/l 72 h, Desmodesmus subspicatus
ErC50 藻類	2.5 mg/l
すず (1333-86-4)	
EC50 72h - 藻類 [1]	> 10000 mg/l Test organisms (species): Desmodesmus subspicatus (previous name: Scenedesmus subspicatus)
EC50 72h - 藻類 [2]	> 10000 mg/l Test organisms (species):

安全データシート

New Look Tire Paint Plus

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

MSDS 番号: 13569-0001

アンモニア (1336-21-6)	
LC50 魚 1	26.8 mg/l

残留性・分解性

New Look Tire Paint Plus	
残留性・分解性	データなし

生体蓄積性

New Look Tire Paint Plus	
生体蓄積性	データなし

土壌中の移動性

New Look Tire Paint Plus	
土壌中の移動性	データなし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : データなし

その他の有害な影響

その他の有害な影響 : 水質危害
その他の情報 : 規定通りの取扱いにおいて、環境に悪影響を与えることはありません、表層水、または下水に流さない

13. 廃棄上の注意

推奨製品/梱包処分 : 空容器は、現地のリサイクリング、再生あるいは廃棄処理に引き渡すこと。汚染された包装は完全に空にし、適切な洗浄処理をした後で再使用可能。洗浄不可能な包装は内容物と同様に廃棄すること。

廃棄方法 : 現行のローカルな法規に従って、焼却することが可能である。廃棄または焼却処分よりリサイクルが好まれる。

14. 輸送上の注意

国際規制

UN RTDG / IMDG / IATA / ADN / RID / ADRに準ずる

国連勧告 (UN RTDG)	海上輸送 (IMDG)	航空輸送 (IATA)
国連番号		
非該当	非該当	非該当
国連正式品名		
非該当	非該当	非該当

安全データシート

New Look Tire Paint Plus

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

MSDS 番号: 13569-0001

国連勧告 (UN RTDG)	海上輸送 (IMDG)	航空輸送 (IATA)
輸送危険物分類		
非該当	非該当	非該当
容器等級		
非該当	非該当	非該当
環境有害性		
非該当	非該当	非該当

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質

非該当

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

化審法 : 優先評価化学物質 (法第 2 条第 5 項)

安全データシート

New Look Tire Paint Plus

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

MSDS 番号: 13569-0001

労働安全衛生法

: 作業環境評価基準（法第 6 5 条の 2 第 1 項）
名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第 5 7 条第 1 項、施行令第 1 8 条第 1 号、第 2 号別表第 9）

適用条件:

1 重量%以上を含有する製剤その他の物（安衛則第 3 0 条・別表第 2）。運搬・貯蔵中に固体以外の状態にならず、かつ、粉状にならない物であって、令別表第一に掲げる危険物、可燃性の物等爆発又は火災の原因となるおそれのある物並びに皮膚に対して腐食の危険を生じるものでないものを除く。

0. 1 重量%以上を含有する製剤その他の物（安衛則第 3 0 条・別表第 2）。運搬・貯蔵中に固体以外の状態にならず、かつ、粉状にならない物であって、令別表第一に掲げる危険物、可燃性の物等爆発又は火災の原因となるおそれのある物並びに皮膚に対して腐食の危険を生じるものでないものを除く。

危険物・引火性の物（施行令別表第 1 第 4 号）

名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第 5 7 条の 2、施行令第 1 8 条の 2 第 1 号、第 2 号別表第 9）

2-アミノエタノール（政令番号: 21）（5%未満）

エチレングリコールモノノールマルブチルエーテル（政令番号: 79）（5%未満）

アンモニア（政令番号: 39）（5%未満）

結晶質シリカ（政令番号: 165 の 2）（5%未満）

カーボンブラック（政令番号: 130）（5%未満）

適用条件:

0. 1 重量%以上を含有する製剤その他の物（施行令第 1 8 条の 2 第 2 号、安衛則第 3 4 条の 2 別表第 2）

腐食性液体（労働安全衛生規則第 3 2 6 条）

特殊健康診断対象物質・現行取扱労働者（法第 6 6 条第 2 項、施行令第 2 2 条第 1 項）

適用条件:

第 1 種有機溶剤又は第 2 種有機溶剤を 5 重量%を超えて含有するもの。ただし、第 1 種有機溶剤を 5 重量%を超えて含有するものを除く。（有機則第 1 条第 1 項第 4 号）

がん原性物質（安衛則第 5 7 7 条の 2 第 3 項、令和 4 年 1 2 月 2 6 日告示第 3 7 1 号、令和 4 年 1 2 月 2 6 日基発 1 2 2 6 第 4 号）

適用条件:

・日本産業規格 Z 7 2 5 2（GHS に基づく化学品の分類方法）の附属書 B に定める方法により国が行う化学物質の有害性の分類の結果、発がん性の区分が区分 1 に該当する物・含有する製剤その他の物。ただし、含有量が 0. 1 重量%未満のものを除く。（施行令第 1 8 条の 2 第 2 号、安衛則第 3 4 条の 2 別表第 2）

水質汚濁防止法

: 有害物質（法第 2 条、施行令第 2 条、排水基準を定める省令第 1 条）

消防法

: 指定可燃物、可燃性液体類（法第 9 条の 4、危険物規制令別表第 4）

適用条件:

可燃性液体量が 4 0 %以下の第 2、第 3、第 4 石油類含有物、省令で定める液体の動植物油及び引火点 2 5 0 °C 以上の引火性液体

安全データシート

New Look Tire Paint Plus

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

MSDS 番号: 13569-0001

大気汚染防止法	: 揮発性有機化合物（法第2条第4項）（環境省から都道府県への通達） 適用条件: 排気 揮発性有機化合物（法第2条第4項）（平成14年度VOC排出に関する調査報告） 適用条件: 排気
海洋汚染防止法	: 有害でない物質（施行令別表第1の2） 有害液体物質（Y類物質）（施行令別表第1） 適用条件: 濃度が28重量%以下のものに限る。 有害液体物質（Y類同等の物質）（環境省告示第148号第2号） 適用条件: ・エチレングリコールモノアルキルエーテルは濃度が31重量%以下のものに限る。 ・エチレングリコールは濃度が25重量%以下のものに限る。 ・エトキシ化アルコールは濃度が15重量%以下のものに限る。 ・エトキシ化イミダゾリンは濃度が10重量%以下のものに限る。 ・2-メルカプトエタノール溶液は濃度が5重量%以下のものに限る。
外国為替及び外国貿易法	: 輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」 適用条件: （廃棄物）【特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）】0.1重量%以上含む物 （廃棄物）【特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）】ハロゲン化されたものを除く 0.1重量%以上含む物 （廃棄物）【特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）】別表第7の中欄に掲げるいずれの試験においても当該試験の区分に応じ同表の下欄に掲げる性状を示すことのないものを含まないもの（別表第6備考） 輸出貿易管理令別表第1の16の項 輸出貿易管理令別表第2（輸出の承認） 適用条件: （廃棄物）【特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）】0.1重量%以上含む物 （廃棄物）【特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）】ハロゲン化されたものを除く 0.1重量%以上含む物 （廃棄物）【特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）】別表第7の中欄に掲げるいずれの試験においても当該試験の区分に応じ同表の下欄に掲げる性状を示すことのないものを含まないもの（別表第6備考）
特定有害廃棄物輸出入規制法（バーゼル法）	: 特定有害廃棄物（法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号） 適用条件: 0.1重量%以上含む物 ハロゲン化されたものを除く 0.1重量%以上含む物 別表第7の中欄に掲げるいずれの試験においても当該試験の区分に応じ同表の下欄に掲げる性状を示すことのないものを含まないもの（別表第6備考）
労働基準法	: 疾病化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1） がん原性化学物質（法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第7号） 適用条件: さらされる業務

安全データシート

New Look Tire Paint Plus

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

MSDS 番号: 13569-0001

じん肺法

: 法第 2 条、施行規則第 2 条別表粉じん作業

適用条件:

粉じん

16. その他の情報

その他の情報

: 4～8 項および 10～12 項の記述は一部、製品の使用および指定通りの適用に関するものではなく(製品説明書・使用説明書を参照)、事故や異常事態で大量放出が発生した場合に該当する。記述内容は製品の安全要求だけに限定し、現時点での知見に基づいている。出荷仕様は製品のデータシートを参照のこと。データシートに記述された特性内容は法律上の保証規定を保証するものではない。

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしてはいるが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。